


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立相楽小学校 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	4年生児童 71名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	パラリンピックについての学習や競技体験を通して、障害者への理解とパラリンピック競技への興味や関心を持たせる。
5 取組内容	(1) パラリンピックの調べ学習 (5月～7月) 個別に競技種目等を決め、調べ学習を行ったあと、新聞にまとめる。 (2) パラリンピック種目(ボッチャ)に携わる関係者による講演や競技体験 (7月2日) 講師 トヨタカローラ京都株式会社 田中 孝洋 氏 他5名 ボッチャについてのお話を聞き、競技体験を行う。  (3) 学習の振り返り (7月) パラリンピックの学習を通して学んだことを振り返る。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • 個々の調べ学習、調べた内容の交流を通して、パラリンピックについて知ることができた。 • 講師の先生から実体験を元にした話を聞くとともに、競技体験を通して、障害者理解とパラリンピックの意義や目的を理解することができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 調べ学習など事前学習を十分に行い、パラリンピックや「障害者」についての一定の知識を持った上で、競技体験の機会を持ったこと。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 複数の競技体験者から話を聞くことで、より学びが深まるため、外部人材を今後も積極的に活用していきたい。 • 体験的な活動が主であったため、パラリンピックや競技体験者の話を聞く時間をもう少し増やしていくことで学びをもう少し深めることができる。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 次年度も継続して、パラリンピック、障害者スポーツについて学習を行っていきたい。